

1-1. 事業概要

2016年度は、4月14日及び16日の熊本地震から始まった。JSCAは行政からの要請を受け、九州支部の会員を中心に応急危険度判定に協力し、10月15日付で国土交通省住宅局長から感謝状を授与された。また、5月17日に会員に向けて義援金の募集を開始し、集まった義援金を6月11日に九州支部熊本本部会に送金した。この義援金は、復興を中心となって担っていく熊本本部会会員の業務環境再建のために、均等に分配された。なお、国土交通省が建築研究所と連携して「熊本地震における建築物被害の原因分析を行う委員会」を設置し検討した結果、建築基準法令及び関連告示の改正は特に行われなかったこととなったが、防災拠点となる建築物の機能継続に係るガイドラインの策定が予定されている。

そのほか、2016年度はCLT関連告示施行、一定の制限はあるが隙間なし天井を可能とする通称特定天井告示改正及び、2017年4月から超高層建築物等の性能評価において極稀地震のサイト波の一つとして採用が求められる長周期地震動検用地震波の公表等、JSCA会員の業務に直結する事項がいくつかあった年度でもあった。JSCAは本部技術委員会等の協力を得つつ、会長会議を主体にこれらの事項に対応するとともに、必要に応じて適切なタイミングを計りE-Mail等により会員への情報提供、周知を行ってきた。また、2016年度を迎えるにあたって定めた活動方針に従い、担当委員会等で活動を行ってきた。以下では、活動方針の中で重点目標とした事項を中心に活動の概要を報告する。

1) 職能研鑽の推進とJSCA建築構造士の将来像の検討

(1) 本部・支部連携によるICTを活用した講習会の実施促進および委員会活動の推進

- WEB講習会等として、いずれも東京開催の、定期講習会を盛岡で、技術委員会報告会2回を大阪と広島で、基礎地盤系部会報告会を札幌、大阪、広島で開催した。
- 本部の委員会と支部の委員会との間でWEB会議システムを利用した合同委員会（WEB合同委員会）を開催し、意見交換及び情報共有を図った。開催されたWEB合同委員会は、耐震診断・補強判定委員会⇄関西支部、編集委員会⇄関西ないしは九州支部、国際委員会⇄関西支部、業務委員会⇄中部支部、法制委員会⇄関西支部、構造士制度委員会更新部会⇄関西支部であった。WEB会議システムを活用した委員会活動は、徐々に浸透しつつある。

(2) 「構造デザイン発表会」および研修活動による中堅・若手世代の構造設計者の職能研鑽

- 別項に記した講習会、研修会のほか、本部各委員会・部会主催の定期講習会、構造デザイン発表会、シンポジウム構造デザイン、技術委員会・報告会、基礎地盤系部会報告会、木造CLT構造の構造設計講習会、PC構造勉強会、及び、各支部、サテライト等主催の講習会、研修会等が開催された。詳細は活動記録の委員会及び支部活動の頁参照。
- 2007年以降、本部及び数支部で開催してきたスキルアップセミナーに関しては、建築物の構造関係技術基準解説

書の2015年6月改訂発行の内容を反映したテキストを用いて、本部及び一部を除く各支部において開催した。

(3) JSCA建築構造士の広報の強化と将来像の検討

- JSCA建築構造士リーフレットの内容をアップデートし、広報に活用したほかは、特段の広報活動は行わなかった。2017年度の課題である。
- 将来像の検討に関しては、2017年度完了を目標として、構造士制度委員会にて検討を開始した。

2) 会員の増強と次世代の構造設計者の育成

(1) 本部・支部の連携による会員勧誘の強化

(2) 次世代の構造設計者をめざす学生会員の増強

- 広報委員会で学生及び若手会員勧誘のためのリーフレットを作成し、構造デザイン発表会ほか、学生や非会員が参加する各種講習会等で配布した。
- 学生及び若手会員の入会促進のため、学生会員から一般会員になった場合の入会金免除、一般会員から正会員になった場合の入会金減額、30歳未満の正会員会費の減額を内容とする運営細則の改訂を行うとともに、総会決議を得た。

(3) 中堅・若手世代の研修の強化

- 中堅を対象とした前述のスキルアップセミナーのほか、若手を対象とした構造設計実務者講習基礎編が関西支部及びJSCA東京にて開催された。
- その他の研修に関しては、特に中堅・若手世代を意識した研修ではないが、本部及び支部にて各種研修会、講習会を開催した。1) (2)参照。

(4) JSCA活動の情報発信の強化

- 告示等改正、構造関係技術基準解説書追補、同Q&AほかJSCA会員の業務に関わる情報は、JSCA本部事務局から一斉メールシステムを活用して会員にE-Mailにて情報周知を行った。
- 広報委員会所管でHPの整備、見直しを定期的に行い、賛助会員情報の改良等を行った。また、会員向けHPにおいて、検索機能付きの機関誌structureのバックナンバー掲載の準備を完了し、2017年度には掲載開始予定である。

3) 木造建築の普及に向けた活動領域の拡大

(1) 木造関連委員会の整備と拡充

(2) 中・大規模木造建築の構造設計に係る情報整備

- 技術委員会木質系部会は、木構造に関する最新技術の普及展開及び、告示新設ないしは改正に係る諸検討を通しての実務者意見の反映等に一定の役割をはたして来ているが、木造建築の普及と言う観点での活動を担う部会ないしはWGの新設も視野に、会長会議を中心に議論を行って来ている。
- 上記議論がまとまれば、運営会議等に諮り、2017年度には具体的な活動を開始する予定である。

(3) 木造関連専門会社の賛助会員への勧誘活動の強化

- JSCAは非木造中心の活動に重心を置いていたためか、賛助会員に木質系の業種が設けられていなかったが、新たに「木質系材料及び同工事」を業種として設けるとともに

に、勧誘活動を開始した結果、2016年度末現在、3社の入会があった。2017年度も会員勧誘活動を継続し、必要に応じて(1)及び(2)に示す活動にも参画してもらう予定である。

4) 性能設計の普及に向けた活動

(1) 改訂版耐震性能設計メニュー案の試行運用

- ・支部訪問による意見聴取を行い、それら意見を基に微調整を行い、JSCA性能設計説明書2016年版(案)及び同パンフレットを会員向けHPにて2016年10月末に公開した。
- ・当面会員による試行運用を通して内容のブラッシュアップを行い、2017年度末までには一般公開予定である。

(2) 応答制御構造の普及、発展のための活動の継続

- ・応答制御部会において通常の委員会活動に加え、長周期地震対応の免震材料の任意事前評価に係る国交省係官等によるヒアリングに性能設計部会と共に対応した。
- ・2016年度から引き続き応答制御部会による「応答制御構造Q&A」を機関誌structureに継続連載した。

(3) パンフレット「安心できる建物を作るために」の見直しおよび社会に向かっての広報活動の強化

- ・広報委員会により標記パンフレットをクライアント向けから一般向けに再構成する作業を実行中。

5) 既存建築物の安全・安心の確保

(1) 耐震診断・改修に関わる判定業務の継続

(2) 耐震診断・改修に関わる構造設計者支援

- ・耐震診断・補強判定委員会における判定業務を継続実施した。判定実績は受付レベルで141件、東京都との協定に基づく確認は8件であった。詳細は耐震診断・補強判定委員会の報告を参照。
- ・東京都「非木造建築物耐震診断等技術者育成業務」の助成を活用し、JSCA東京に登録された東京都緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断を行う事務所関係者向けに「東京都緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断・補強設計Q&A」と題した研修会を開催した。主催はJSCA東京、講師は技術委員会/耐震診断・補強技術部会委員が務めた。詳細は技術委員会/耐震診断・補強技術部会委員の報告参照。

(3) 構造相談コーナーの継続

- ・2014年3月開設の建築構造相談コーナーを2016年度も継続運用したが、電話でのやり取りで済む程度の軽微な相談を除くと、面談による相談に至ったものは4件であった。ちなみに2015年度は0件であり、熊本地震の影響が多少あったものと考えられる。

6) 重点目標以外の報告事項

- ・非構造部材の構造安全性確保に向けての6会共同提言
2014年にJSCAが行った提言を基に、日本建築士会連合会及び建築設備技術者協会の参画を得て内容を見直すとともに特記仕様書例も作成し、他の関連団体とも協議の上で内容の見直しを行い、賛同いただいた日本建築家協会、日本建築士事務所協会連合会及び日本設備設計事務所協会も加えて6会共同提言として2016年12月20日に公表し

た。

7) 第27回JSCA賞

2016年6月24日開催の総会における表彰式に引き続き、総会后、JSCA賞委員長からの応募作品の紹介を含む選考経過報告及び受賞記念講演会が行われた。

作品賞 村上博昭：立教大学ロイドホール「18号館」

奨励賞 徳淵正毅：江の島 湘南港ヨットハウス

新人賞 増田寛之：竹中大工道具館新館の設計

新人賞 木下洋介：オガールベース

業績賞 近藤一雄、角 彰、多賀謙蔵、田代靖彦

長瀬 正、太田 寛、西村勝尚、前野敏元

：大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用

地震動及び設計法に関する研究会活動

1-2. 役員／体制

会 長	森高英夫 (代表理事)
副 会 長	金田勝徳 (代表理事) 常木康弘 細澤治
専務理事	福島正隆 (業務執行理事)
常務理事	飯田直彦 (業務執行理事)
理 事	
本部担当	嵐山正樹 一條 典 江尻憲泰 江村 勝 大岡 彰 金兵秀樹 関 洋之 早野裕次郎 福田孝晴 前野敏元 榊田洋子 三町直志 横山一智
支部担当	北海道 向山松秀 東 北 加藤重信 関東甲信越 園部隆夫 中 部 二宮利治 関 西 小倉正恒 中 国 清水保雄 四 国 竹内良和 九 州 宮田俊英
監 事	岡本隆之祐 水津牧子 吉田 守
□支部長	各支部担当理事が兼務
□協会顧問	弁 護 士 服部成太 公認会計士 元森俊雄
□事務局員	職員数4名(うち大阪1名)

1-3. 会員数の推移

年 度 末	正 会 員	一 般 会 員	学 生 会 員	賛 助 会 員	名 誉 会 員	学 術 会 員	JSCA 建 築 構 造 士	構 造 設 計 一 級 建 築 士
00	3618	120		261	29	229	2527	
01	3618	127		249	28	233	2569	
02	3572	133		240	28	237	2561	
03	3551	139		234	25	238	2547	
04	3542	135		235	21	192	2536	
05	3606	147		254	31	186	2531	
06	3816	152		247	30	185	2692	
07	3907	154		241	30	183	2771	
08	3876	156		228	23	178	2696	
09	4000	144		224	25	169	2590	
10	4020	135		227	29	165	2457	※3275
11	3983	131		233	28	163	2249	※3368
12	3925	131	6	230	28	157	2183	※3342
13	3909	129	8	227	26	155	2113	※3355
14	3929	134	7	231	25	151	2030	※3388
15	3910	126	6	235	25	147	1957	※3353
16	3867	122	6	234	29	145	1862	※3342

※構造設計一級建築士証の写しを添付し、本協会に届け出た会員の数である。

2-1. 総会

□通常総会 0624

・議事

2015年度事業報告及び同附属書類

1号議案2015年度(平成27年度)貸借対照表、正味財産増減計算書及び同附属明細書承認の件

2 〃 名誉会員推薦の件

3 〃 一般会員の入会金、正会員の入会金及び正会員の年会費の改定の件

・報告事項

・2016年度事業計画書及び2016年度収支予算書

・第27回JSCA賞審査結果

・2016年度JSCA功労者

2-2. 理事会

□第1回 0428(通信)

議事 正会員入会申込者の承認について/一般会員入会申込者の承認について/賛助会員入会申込者の承認について

□第2回 0608

議事 入会申込者承認(含・会員数等報告)/2016年度収支予算書の一部変更/総会に付議すべき事項(総会資料)の承認/次世代を担う若手会員増強対策に係る提言及び提言を受けての運営細則改訂/JSCA賞表彰規則改訂/委員長交代/その他

報告 2016年度第1回～第2回運営会議議事録/熊本地震被災会員に対する義援金/「非構造部材の安全性確保に向けての提言」に関する進捗状況(他会協議含む)/委員会報告/その他

□第3回 0615(通信)

議事 総会第3号議案として、「一般会員の入会金、正会員の入会金及び正会員の年会費の改定」を追加する件

□第4回 0729(通信)

議事 正会員入会申込者の承認について/賛助会員入会申込者の承認について

□第5回 0923(通信)

議事 正会員入会申込者の承認について/一般会員入会申込者の承認について/学生会員入会申込者の承認について/賛助会員入会申込者の承認について

□第6回 0930(通信)

議事 役員候補選挙規則の改定について/役員候補選挙規則改定に伴う運営細則改定について

□第7回 1122

議事 入会申込者承認(含・会員数等報告)/その他

報告 2016年度第3回～第5回運営会議議事録/業務の執行状況報告/上期会計報告/一般会員の入会要件/委員会報告/その他

□第8回 0131(通信)

議事 正会員入会申込者の承認について/一般会員入会申込者の承認について

□第9回 0327

議事 入会申込者承認(含・会員数等報告)/JSCA名誉構造士
称号付与承認/JSCA功労者称号付与承認/2017年度事業
計画承認/2017年度予算承認/ JSCA建築構造士資格認
定制度に関する規則改訂/その他

報告 2016年度第6回～第8回運営会議議事録/業務の執行状
況報告/委員会報告/その他

2-3. 監事会

監査 0601

2-4. 運営会議

□第1回 0428

議事 2015年度事業報告/次世代を担う若手会員増強対策に
係る提言/名誉会員の推薦候補/熊本地震被災会員に向
けての措置/その他

報告 会長会議メモ/ JSCA賞委員会選考結果報告/委員会報
告/その他

□第2回 0526

議事 2015年度総会資料(事業報告、決算資料等)の確認及
び収支予算書の一部変更/次世代を担う若手会員増強
対策に係る提言/上記に関する運営細則改訂案/非構造
部材の安全性に関わる提言及び特記仕様三会共同案
/JSCA賞の表彰規則とHPについて/その他

報告 会長会議メモ/熊本地震被災会員に対する義援金/委員
会報告/その他

□第3回 0728

議事 重点目標の実施体制の確認/委員会活動計画/「障害を
理由とする差別の解消の推進に関する法律」への本部
の対応について/その他

報告 会長会議メモ/委員会報告/その他

□第4回 0929

議事 JSCA性能設計説明書2016年版(案)/非構造部材の構
造安全性確保に向けての6会提言(案)の公表/学生
向けリーフレット/その他

報告 会長会議メモ/会員委員会学生会員取扱内規/委員会報
告/その他

□第5回 1026

議事 危機管理マニュアル新旧比較表/「JSCA賞(業績)の
応募についてのお伺い」への回答/その他

報告 会長会議メモ/2016年度上期決算報告/委員会報告/そ
の他

□第6回 1214

議事 会費滞納による年度末会員資格喪失予定者について/
その他

報告 会長会議メモ/委員会報告/次年度年間スケジュール案
/その他

□第7回 0118

議事 次年度事業計画について/その他

報告 会長会議メモ/委員会報告/その他

□第8回 0222

議事 2017年度事業計画/2017年度本部予算/功労者候補/
JSCA建築構造士資格認定制度に関する規則改訂/その
他

報告 会長会議メモ/委員会報告/その他

2-5. 支部長会議

□第1回 0608

議事 前回議事録の確認/支部からの報告/構造設計賠償責任
保険説明会開催のお願い/次世代を担う若手会員増強
対策と学会員に係る提言/その他

□第2回 1122

議事 前回議事録の確認/支部からの報告/震災対応マニユ
アル改訂/その他

□第3回 0327

議事 前回議事録の確認/支部からの報告/震災対応マニユ
アル改訂/その他

2-6. 会長会議

・会議 0413 0511 0615 0713 0810 0914 1012 1109
1207 0111 0208 0308

2-7. その他会議等

□記者懇談会 0615 1207 1220(6会合同)

□懇親会 0624 0118 ゴルフ 1010 0325

3-1. 対外交流

□関係諸団体との交流

- 0511 東京都鉄筋継手検査機関連絡協議会(スクワール麹町)
- 0516 ロングライフビル推進協会(ロイヤルパークホテル)
- 0516 日本基礎建設協会(コートヤードマリオット銀座東武ホテル)
- 0517 日本地震工学会(建築会館ホール)
- 0517 CIW検査業協会(東京會館)
- 0519 東京都建築材料試験連絡協議会(スクワール麹町)
- 0525 日本鉄筋継手協会(ルポール麹町)
- 0530 日本建築学会(建築会館ホール)
- 0601 日本建築積算事務所協会(東海大学校友会館)
- 0608 東京建築士会(Txカフェ)
- 0608 日本免震構造協会(明治記念館)
- 0609 建築研究開発コンソーシアム(学士会館)
- 0610 耐震総合安全機構(日中友好会館ホール)
- 0614 日本建築士事務所協会連合会
(コートヤードマリオット銀座東武ホテル)
- 0621 日本建築士会連合会(建築会館ホール)
- 0621 建築設備技術者協会(明治記念館)
- 0622 日本鋼構造協会(東京ドームホテル)
- 0630 東京都建築士事務所協会(京王プラザホテル)
- 1209 CIW検査業協会(東京會館)
- 0106 日本建築学会(建築会館ホール)
- 0106 日本鉄筋継手協会(ルポール麹町)
- 0109 総合資格(ハイアットリージェンシー東京)
- 0110 鉄骨建設業協会(ホテルグランドアーク半蔵門)
- 0111 日本鋼構造協会(アーバンネット大手町ビル)
- 0112 日本溶接協会(ザ・プリンス パークタワー東京)
- 0113 全国鐵構工業協会(鉄鋼会館)
- 0116 プレストレストコンクリート建設業協会(ホテルグランドアーク半蔵門)
- 0119 日本免震構造協会(明治記念館)
- 0119 東京都建築士事務所協会(ハイアットリージェンシー東京)
- 0123 日本設備設計事務所協会(如水会館)
- 0120 日本建築家協会関東甲信越支部(建築家会館)

- 建築技術教育普及センター
「APEC建築エンジニア資格委員会」 大越俊男 太田雅昭 1404~1603
- 大越俊男 西本信哉 1604~1803
- 「EMFエンジニア資格委員会」 大越俊男 太田雅昭 1404~1603
- 「IPEA建築エンジニア資格委員会」
- 大越俊男 西本信哉 1604~1803
- 「建築CPD運営会議」 福島正隆 山辺豊彦 0604~1803
- 「建築CPD運営会議プログラム審査会」 仲山雅一 1604~
- 「大学院実務経験確認審査委員会」 金田勝徳 1212~
- 建築・住宅国際機構
「ISO/TC98/SC3/WG9対応WG」 小鹿紀英 1407~
- CIW検査業協会
「倫理委員会」 金田勝徳 1605~
- 「検査機関倫理委員会」 橋本康則 1205~
- 本波英樹 1405~
- 繊維補修補強協会
「繊維補修補強協会役員(顧問)」 金田勝徳 1510~1709
- 全国鐵構工業協会
「品質管理体制検討委員会」 渡辺 仁 1609~
- 全国鐵構工業協会+鉄骨建設業協会
「検査技術委員会」 福島正隆 0910~
- 「監理技術者審査委員会」 福島正隆 0910~
- 「建築鉄骨検査技術者製品試験委員会」 宮本 守 1504~
- 「同製品教育委員会」 福森 亨 1504~
- 鉄骨製作管理技術者登録機構
「審査委員会」 福島正隆 0910~
- 東京建築士会
「法規委員会」 木内達夫 1109~
- 「専攻建築士審査評議会」 山辺豊彦 福島正隆 0910~
- 東京都鉄骨加工工場登録制度推進機構
「審査委員会」 高橋 勇 1104~
- 東京都都市整備局
「耐震改修促進連絡会」 福島正隆 0910~
- 「耐震化推進都民会議」 福島正隆 0910~
- 「安価で信頼できる木造住宅の耐震改修工法・装置の
評価委員会」 大岡 彰 1509~
- 東京都防災・建築まちづくりセンター
「耐震改修計画評定委員会」 横尾格美 1107~1706
- 加藤晋平 0311~1706
- 安部重孝 玉松健一郎 0512~1706
- 「鉄筋継手検査機関登録審査倫理委員会」
- 手塚純一 上之菌祐司 1409~1603
- 吉田 実 上之菌祐司 1604~
- 東京都建築材料試験連絡協議会
「倫理委員会」 内海 博 0806~
- 「同専門委員会」 伊庭 孝 上之菌祐司 0806~
- 「コンクリート採取試験会社審査委員会」
- 大岡 彰 木下憲明 0912~
- 日本基礎建設協会・コンクリートパイル建設技術協会
「「基礎施工士」検定試験委員会」 近藤豊史 1506~1706

3-2. 他団体への委員等の推薦

- 国土交通省
「建築構造基準委員会」 森高英夫 1507~
- 国土交通省国土技術総合政策研究所
「長周期地震動対策検討WG」 伊藤 優 1107~1603
- 「災害拠点建築物の機能継続技術の開発検討WG(非構造壁
WG)」 太田俊也 1308~1703
- 建築研究所
「研究評価委員会構造分科会」 森高英夫 1510~1709
- 国際協力機構
「国際緊急援助隊救助チーム技術検討員」
- 高橋 勇 一條 典 1604~
- ベターリビング
「構造安全性能評価委員会」 鶴田 隆 0508~

- 日本建築学会
「構造委員会」 伊藤 優 0706～1709
「保有水平耐力計算規準対応小委員会」
鹿島 孝 蛭川利彦 1504～
寺田隆一 1509～
「積雪荷重小委員会」 小坂橋裕一 0101～
「壁式構造運営委員会」
岡部喜裕 網干眞一 1308～1703
小林光男 1308～1703
「産学連携建築教育連絡会議」 福島正隆 0910～
「低炭素社会推進会議」 大畑勝人 1507～
「鋼構造設計規準改定小委員会」 小野潤一郎 1601～
- 日本建築士会連合会
「五会認定資格懇談会」 山辺豊彦 福島正隆 1212～
- 日本建築積算協会
「建築コスト管理士評議委員会」 山辺豊彦 1504～
「建築積算士評議委員会」 福島正隆 1504～
- 日本建築センター
「評議員」 森高英夫 1506～
「技術的検査を行う第三者の推薦について」
山辺豊彦 0710～
小竹 晃 0801～
園部隆夫 1604～
「(仮称)2016年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル
編集委員会」 伊藤 優 1512～1709
- 日本建築防災協会
「評議員」 森高英夫 1604～
「既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会」
福島正隆 0910～
「住宅等防災技術評価委員会」 白石 梢 0901～
「全国被災建築物応急危険度判定協議会」
福島正隆 0910～
「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修
設計指針改訂原案作成委員会」 金田勝徳 1306～
「(仮称)木造住宅等耐震診断法委員会」 白石 梢 1610～
- 日本鋼構造協会
建築鉄骨品質管理機構
「運営会議」 森高英夫 1604～
「認定委員会」 福島正隆 0910～
「建築高力ボルト接合管理技術者専門委員会」
中尾彰宏 1606～1803
「鉄骨工事管理責任者専門委員会」 高橋 勇 0704～
「鉄骨工事管理責任者実行委員会」 高橋 勇 0704～
「同テキスト作成小委員会」 高橋 勇 1304～
「鉄骨造建築物接合部ディテールの設計資料集の検討委員会」
伊藤 優 常木康弘 1404～1701
「同 検討WG」 渡辺 仁 1404～1701
「建築鉄骨溶接部の性能標準作成委員会」
伊藤 優 吉成 裕 1409～1710
「同WG」 吉成 裕 1506～1710
- 日本住宅・木材技術センター
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計改訂委員会」
- 木林長仁 1406～1703
「CLT関連告示等解説書編集委員会」 木林長仁 1604～1703
- 日本鉄筋継手協会
「優良溶接せん断補強筋製造会社認定委員会」
中川 崇 太田俊也 1004～1701
中川 崇 永田 敦 1701～
「優良圧接会社認定委員会」 大岡 彰 1204～
「優良鉄筋溶接施工会社認定委員会」
大岡 彰 1204～
「優良鉄筋継手部検査会社認定委員会」
大岡 彰 1204～
「支部委員」 安田俊幸 八ツ賀英幸 二連木清
牧野章文 福本義之 大塚真裕 1004～
「鉄筋継手工事標準仕様書改訂委員会」 手塚純一
1603～1701
「鉄筋溶接継手品質確保方策検討委員会」 太田俊也
1606～1701
- 文化庁
「文化財建造物の耐震対策の在り方に関する協力者会議」
金箱温春 1410～1703
「同会議木造WG」 山辺豊彦 1410～
- 山梨県建築士事務所協会
「山梨県建築物耐震診断判定会」 世良耕作 9704～
- 横浜市
「公共建築物耐震工法検討委員会」 橋本康則 0704～1803